



2019年5月 NO.30
 発行：認定NPO法人SON・新潟
 【事務局】 〒950-2044
 新潟市西区坂井砂山4丁目22-19
 TEL:025-378-0171
 FAX:025-378-0172
 E-mail:son_niigata@son.or.jp
 公式HP:https://son-niigata.com/

スペシャルオリンピックス（SO）とは・・・
 知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。
 スペシャルオリンピックスでは活動に参加する知的障害のある人を「アスリート」と呼んでいます。

2019年度 理事長挨拶

「SON・新潟の当面の活動方針など」

スペシャルオリンピックス日本・新潟 理事長 平山 征夫

今年のSON・新潟の活動方針は、3年前の全国大会での成功のレガシー構築であります。その活動を通じて更なる将来を展望して、参加アスリートの拡大、NPO活動の底辺の拡大、更には財政基盤の確立などを図ってゆきたいと思っています。いずれも大きな課題ですので容易ではないでしょう。

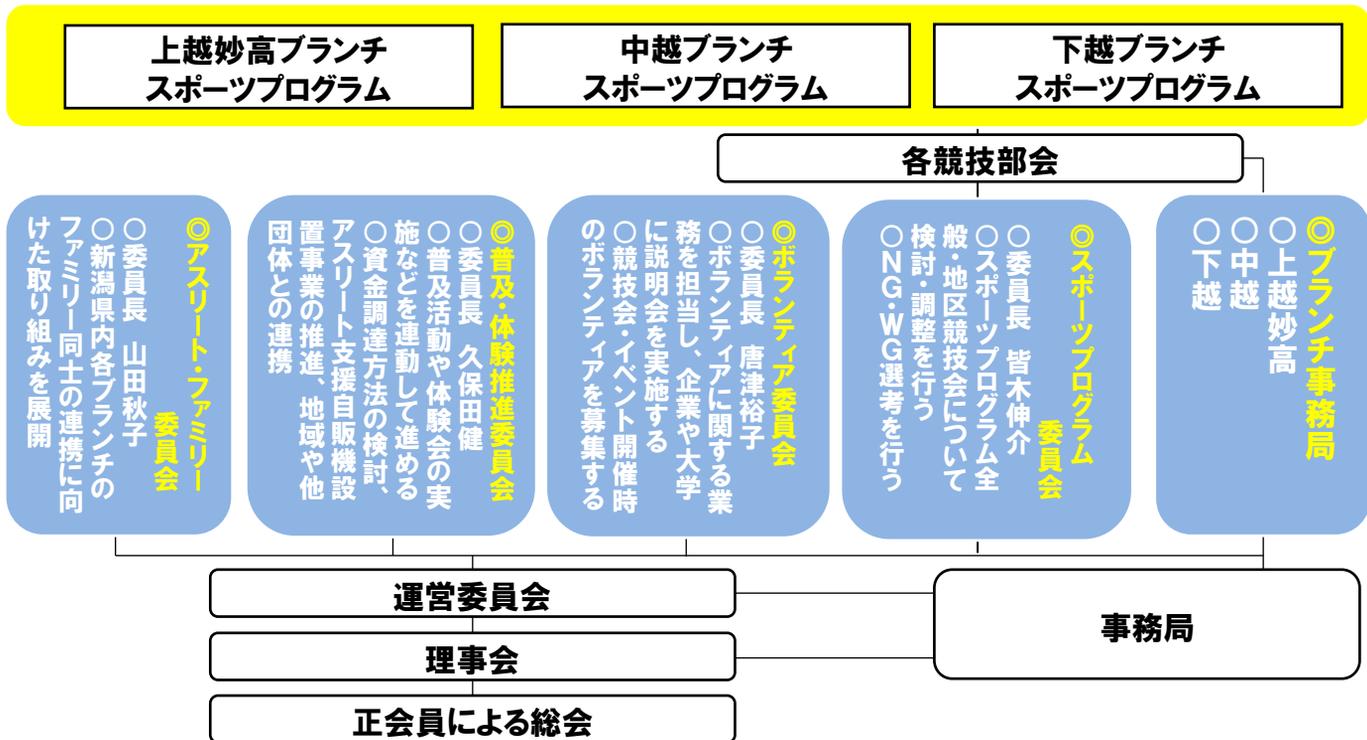
今回の世界大会で上越妙高 brunch の望月君と高島さんがゴルフ競技で金メダルを取りました。本当に素晴らしいことで、皆で喜ぶたいものです。此処に至った背景には、もちろん本人の努力も素晴らしかったでしょうが、多くの人の支えがあったからでしょう。こうした地域でのユニファイドな関係が広く障害者スポーツを支えてくれるわけで、こうした体制をもっと強化してゆく大きなきっかけがレガシー事業の成功への努力なのです。

障害者福祉の最終目的は、先立たれる親御さんが後顧の憂いなく子供さんを託してゆける社会体制の確立でしょう。この最終目的への道は遠いですが、そこに向かってさあ皆でその第一歩を踏み出しましょう。

2019年度 通常総会 報告

3月24日(日)に、2019年度SON・新潟の通常総会を新潟国際情報大学の新潟中央キャンパスで行いました。正会員総数29名中、本人出席12名、委任状出席9名、合計21名の出席により総会が成立、無事に終了いたしました。2019年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

2019年度 SON・新潟 組織図



3/14~21 SO夏季世界大会・アブダビ 参加報告

【ゴルフ競技】

アスリート 望月 辰紘

3月7日の結団式の後、10時間飛行機に乗ってアブダビに向かいました。最初にドバイでホストタウンプログラムがあり、学校にいて現地の人と野球をしたりしました。

開会式は花火があがってきれいでした。

アブダビのコースは海沿いでバンカーも深く、もじやもじやのラフもあって難しいコースでした。初日は砂嵐で、風が強クスコアが悪かったですが、最終日は目標の50を切ることができました。バーランド、マカオ、オーストリアの選手と回りました。D4で優勝して金メダルをとることができてよかったです。

これからもう一生懸命練習して、4年後のベルリン大会に行けるよう頑張りたいです。

パートナー 高島 信之

この度アラブ首長国連邦のアブダビで行われた、2019年スペシャルオリンピックス夏季大会にオルタネートという交互にボールを打つゴルフの競技に、アスリートの望月辰紘さんのパートナーとして参加させて頂き、大変幸運に恵まれ、二人で金メダルを一番高い表彰台で頂くことができました。

コーチの方が直前の大怪我で行けなくなったり、ドバイからアブダビへ移動するバスが来なくドバイのホテルで9時間以上待たされたり、予選の初日に台風並みの強風に悩まされたりというハプニングが有りましたが、新潟県や日本の代表として金メダルをいただいたのは、多くの方々のご支援ご協力のお陰と感謝しております。ありがとうございました。



アブダビアラブ首長国連邦



©Special Olympics Nippon

【2019世界大会に参加して】

陸上コーチ 落合 清美

朝5時過ぎにイスラム教の祈り「アダーン」が町中のスピーカーから流れ目覚めるアラブでの夏季世界大会。女性は黒のアバヤを身に纏い、男性は全身白のカンドウラといった神秘的な世界での2週間でした。しかしアスリートはまるで違う環境の中でも動くことなく、自分の持つ最大限の力を発揮してくれました。国中あげてSOの世界大会を歓迎くださり、SOの活動は世界中に広がっていること、参加する全ての人達が何の偏見もなく共に喜び、交流できたことを感じます。様々な経験を通し、アスリートが成長の為の大きな財産になってくれたと確信しています。



【私は泣かない。明日は金メダルが取れるように頑張る！】ボウリング スタッフ 皆木 伸介

3月17日今日はボウリングは全員が参加する個人戦があります。前日の団体戦で6名中4名はメダルを手にしています。

男子のAくん、女子のBさんがともに順調にスコアを伸ばし、最終的に金メダルを取ることができました。他にもCくんDさんもメダルを手にすることができました。男子のEくん、女子Fさんは残念ながらメダルに手が届きませんでした。

試合後は金メダルを取った2人にはファミリーや他国のコーチたちが声をかけてくれ大騒ぎでした。メダルを逃した2人は他の4人のことをうらやむこともなく、祝福していました。表彰式が終わり、2人に「今日は残念だったね。明日また頑張ろうね。」とそっと声をかけました。するとFさんが「今日はメダルが取れなかったけど、私は泣かない。明日金メダルが取れるように頑張る。」と言いながら、うっすらと涙をにじませていました。その気丈な姿に、こちらも思わずもらい泣きしてしまいました。翌日彼女もダブルスでようやくメダルを手にすることができました。

勝つこと、メダルを手にすることは大切ですが、私たちコーチはそのメダルに一喜一憂するのではなく、アスリートに寄り添えるといいな、それが本当の役割かなと感じた大会でした。



3/23 フロアホッケーフェスティバルin新潟

3/23に秋葉区総合体育館にてフロアホッケーの競技会、ポッチャ・フライングディスク・フロアホッケーの体験会を新潟市と共催いたしました。競技会は、個人スキルコンテスト、SOアスリートの選手のみで構成されるSOチームゲームの部、ユニファイドチームゲームの部の3つの部門を実施しました。個人スキルコンテストおよびSOチームゲームの部は来年開催される北海道NGIに向けて白熱したゲームが展開されました。ユニファイドチームゲームには、7チームが出場し、アスリートとパートナーが互いを尊重し、理解を深め合う機会を提供することができました。

パラリンピアン加藤さんの講演やパラリンピックのパネル展示があり、体験会には101人の方が参加しました。参加者、来場者のパラリンピック、そして、障害者スポーツへの理解・関心を高めることができたのではないかと思います。

ボランティアとして新潟市スポーツ推進員、あいおいニッセイ同和損害保険(株)新潟支店、新潟県中小企業家同友会にご協力をいただきました。またmitボランティアが4組8名参加しました。

これからも見てもらう・知ってもらう・体験してもらうことを組み合わせながらSOの普及につなげていきたいと思っています。

体験会
フライング
ディスク



新潟市ダンスプログラム「H&D」のパフォーマンス盛り上がりしました！

パラリンピアン
の加藤さんにご講演
をいただきました





11/25(日)
ユニファイドサッカー大会・福井
@武生特殊鋼材ドリームサッカー場・
越前市

全力を出し切った福井大会！

アルビレオ新潟、全員集合！



11/3(土)
ボウリング地区競技会
@グランドボウル黒埼・
新潟市



2018年第5回
スペシャルオリンピックス日本・新潟 ボウリング地区競技会



笑顔いっぱい！全員で記念写真

主催：NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・新潟
主管：NPO法人 SON新潟・新潟市ボウリングプログラム

11月3日 グランドボウル黒埼

2/24(日)
アルペンスキー・
スノーボード
地区競技会
@池の平温泉スキー場・
妙高市



青空の下、気持ちよく滑りました！

新潟市・ユニファイドバスケットボール体験会

ユニファイドバスケットボールプログラムの立ち上げを目指し、新潟医療福祉大学において体験会を実施しました。当初想定よりも多くのアスリート、パートナーにご参加いただき、共に支え合いながら、仲間としてプレーすることの楽しさ・喜びを体験していただきました。いずれの体験会も大変盛り上がり、また次回も！という声を多くお寄せいただきました。バスケットボールを通じたユニファイドスポーツの取組みで、障がいの有無に関わらずお互いが支え合う社会が当たり前のこととなるよう、これからも皆で盛り上げていきたいと思ひます。多くの方のご参加、お待ちしております。(ユニファイドバスケットボールP代表 涌井こず恵)



11/4 ポッチャ・フロアホッケー体験会
EKSデーイベントin上越妙高ランチ

上越妙高ランチでは、普段のスポーツプログラムには無いポッチャ及びフロアホッケーの体験会を今回、上越妙高SOデーと合わせて開催しました。当日はアスリート30名及びファミリーやボランティアの幅広い年齢層が参加し、2種目のスポーツを皆が楽しみながら体験。「ユニファイド」としてもアスリートとパートナーがチームを組めること、ポッチャは年を重ねても続けられるスポーツとして理解を深めることができました。

ご参加いただいた皆様、県内他地域で活動するコーチをはじめボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。

(上越妙高ランチファミリー委員長 笠原啓一)



2018認定コーチ研修に参加して

昨年11月、福井市において競泳の認定コーチ研修に参加しました。コーチ経験者に向けて、より良いプログラム運営に向けてどのように取り組むべきかの研修の場でした。

実技分野では競技力の差を勘案しながらもアスリートの実態を考慮し、プール施設の物理的な特徴、水の特性なども含めて指導することを再確認しました。ナショナルゲームが終わった後という事もあったので、慣れない施設の中での指導力の必要性を身近に感じた研修でした。

講義の部分では安全に関わる内容を研修しました。プログラム開始前の出欠の確認、活動中の約束事、健康チェック、ファミリーへの伝達時期、自傷・他害の対応など事例を基に学ぶ事ができました。

研修を受けながら、活動しているプログラムを振り返り、改善しなければいけないことも多く感じ、これからのプログラム運営を考える研修となりました。

(十日町市競泳Pヘッドコーチ 細井哲明)

コーチクリニック開催報告

2/10(日)アルペンスキー
@五日町スキー場他・南魚沼市



愛知の新実紳自スポーツトレーナーにご指導いただきました。県内各地、他地区からの参加もあり、交流を深めました。



GO・Aは長野の宮下和彦ナショナルトレーナー、フィギュアスケートは東京の津川典久スポーツトレーナーにご指導いただきました。

ついに柏崎でフィギュアプログラムがスタートしました！！

1/27(日)
中越ランチGO・A
& フィギュアスケート
@柏崎アクアパーク・柏崎市



12/14 新潟スポーツビジネスインスティテュート 主催

トークセッション「スポーツの未来に僕たちができること—スポーツの『価値』ってなんだ」@クロスパルにいがた

ハンディを背負いながらも生活されているご自身、家族、スポーツに関心もしくは興味を持ちそのような友人を持つ方々の経験談についてのトークでした。トークの中で「自らの意思を持って何事も決める、そして行動する」「自分の強み(良さ)を最大限に表現する」を共通して述べられていました。

私自身、過去を振り返ると「ハンカチの中央(本人の強み)」を引き出し、表現できる環境を整えることこそ、スポーツのみならず、本人のやる気を高めることができ、支援者としての力量と考えます。

今後も、スポーツを通して一人一人のQOL(生活の質)の充実に努めて参ります。(谷口博文)

【登壇者】早川史哉(サッカー選手)・清水千浪(車椅子バスケット選手)・五勝出拳一(電通ライブ)・谷口博文(SON・新潟)

11/10 全県スポーツプログラム代表者会議を行いました

11/10に長岡市のさいわいプラザにて、2018年度第2回全県スポーツプログラム代表者会議を開催し、約50名が出席しました。
①夏季ナショナルゲーム報告・・・参加8競技全てで、それぞれ1名ずつのアスリートが代表で行いました。「頑張ったこと・嬉しかったこと・悔しかったこと・これから頑張りたいこと」などを発表しました。

②各専門委員会・各ランチ・事務局・来年度の計画について、報告・協議。

③南魚沼市教育委員会学校教育課特別支援教育指導主事 森田様に「スペシャルオリンピックスと共生社会」の講演をいただきました。MSG(南魚沼市立総合支援学校)を核とした、共生社会づくりの実例を南魚沼スタイルとしてご紹介をいただきました。もともとあった共生社会づくりの取組みが、2016年のSON冬季ナショナルゲーム開催のおかげで、速度が速まり、感謝している、これからも共に頑張ろうとのお言葉をいただき、感激いたしました。

④MSG教員で、中越ランチ事務局長の保坂さんより、2016年の後のレガシーとして、南魚沼市の様子と共に、南魚沼スタイルから感じた事を、参加者へのメッセージとしていただきました。



SON・新潟 事務局より

●このたび、NPO法人SON・新潟は2019年1月17日付にて新潟市より「認定NPO法人」として正式に認められましたことをご報告いたします。みなさまのお力添えに、心より感謝申し上げます。

認定NPOとして認められたことにより、SON・新潟へのご支援は寄附金として税制上の優遇措置の適用を受けることができるようになりました。税制優遇の詳細については内閣府NPOページや国税庁、新潟県、各市町村にご確認ください。

■今後の予定

◎地区競技会:8/19 ゴルフ 10/5 陸上競技 10/27 バasketボール 11/2 ボウリング

◎コーチクリニック:6/15 フロアホッケー 6/23 上越妙高ランチGO・A・Basketボール・陸上競技 7/21 バドミントン

■スポーツボランティア(コーチ・運営手伝い)、競技会ボランティア、イベントボランティアを募集しています。詳しい内容や募集案内はホームページをご確認ください。「出来ることを出来る時に」一緒に楽しみながら活動しませんか？

■賛助金納入のお願い

スペシャルオリンピックスの活動は、ボランティアと皆様の賛助金・寄附金で支えられています。

賛助金は、個人年間一口 3,000円・企業団体年間一口 10,000円

となっております。寄付も受け付けております。

納入は、右記口座へお振込み(手数料はご負担願います)をお願いします。

※今号は2018年11月～2019年4月の内容を掲載いたしました。

【振込先】

ゆうちょ銀行

記号番号:00580-5-101963

口座名:NPO法人 SON・新潟